

広報おばまの作り方

いつも広報おばまを愛読いただきありがとうございます。市では、毎年実施している広報アンケートの結果を基に、紙面リニューアルを行っています。今号からリニューアルしたポイントと、広報おばまの製作行程などをお知らせします。

■問い合わせ 市民協働課 ☎64・6009

広報おばまの写真是、誰が撮っているの？



写真是、市の広報担当者2人が撮影しています。ほかに、広報の取材や紙面編集、デザイン、画像加工、校正など印刷以外のすべての行程を職員がすることで、経費節減に努めています。

私たちが広報おばまを作っています。



市民協働課広報担当 橋本・松原

広報おばまのどんなところが変わったの？



今月号から、表紙のデザインを、その号の特集内容と連動したものに変更しました。毎回好評をいただいている小学生による「おばま」の題字は今後も続けていきます。



1

市民の皆さんの情報入手の手段

1位は広報おばま

2位チャンネルO、3位新聞 ※広報アンケートより

第1号の発行は昭和26年 市制施行の年から65年間発行を続けています

広報の印刷経費は1ページあたり約1円

毎月の発行部数は1万2000部 各区を通じて家庭に配布しています



昭和26年4月20日発行の市政広報第1号

風景やニュース写真を掲載していた裏表紙を、「輝く子どもたち」という写真コーナーに一新しました。地域の子どもたちが生き生きと活動する様子を毎月お届けします。



2

お知らせコーナーの「くらしの情報」と「子育て・相談情報」のデザインを、より読みやすくなるように変更しました。人の紹介コーナーでは、現在連載中の中学校の部活紹介に加えて、アンケートで希望の多かった高校の部活紹介の連載を、今後計画しています。



どうやって情報を集めて、発信しているの？

市民の皆さんや市の各部署からの情報提供をはじめ、広報担当者が市内をまわり、情報を収集、取材をしています。取材した情報は、広報紙で掲載するとともに、チャンネルOや市公式ホームページ、フェイスブック、ツイッターなどで連動した情報発信を行っています。ほかに、新聞社やテレビ局への情報提供などを通して、小浜のPRをしています。

広報おばまでは、毎年広報アンケートを実施

本年度は、6月30日から7月22日までの期間、無作為に選んだ20歳以上の市民1000人を対象に、市の広報についてアンケートを実施しました。

回答数は446人(女性249人、男性194人、無回答3人)でした。

アンケートでは、地域の情報の充実や、地元の人が活躍している姿、子どもたちが活動する様子などの掲載を求める意見がたくさんありました。

市では、小浜に根差した「地域密着型」の広報紙を目指すとともに、今後も市民の皆さんの声を紙面づくりに生かしていきます。

※広報アンケートの全結果は、市公式ホームページで公開しています

ソーシャルメディアでも情報を発信中！

市では、平成26年7月から公式フェイスブック、同年9月から公式ツイッターをスタート。広報では掲載しきれなかった地域の出来事や、各種お知らせなどを日々配信しています。27年度は、フェイスブックで延べ55万人、ツイッターで延べ28万人に情報が配信されました。



市公式フェイスブックは上記QRコードから。公式ツイッターは「小浜市」で検索

広報おばまへのご意見は、市民協働課広報広聴グループ (kouhou@city-obama.lg.jp) またメールでお寄せください。